

所属・資格 地理学科・教授

申請者氏名 井村 博宣

研究課題		海洋と漁業・漁業地域に対する環境認知とイメージの形成に関する地理学的研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>申請者は、地理学のもつ本質的探究課題である環境と人間の関わり（環境論）について追究している。人びとの行動は、必ずしも現実の環境だけでなく、知覚（頭の中）の環境の影響も受けている。そこで申請者は、環境論に関する研究の一環として、人びとの環境認知が漁家対応、観光行動や居住地選好などに及ぼす影響について、これまで分析を行ってきた。</p> <p>本研究では、かかる成果を踏まえたうえで、これまでの環境論に関する研究の一環として、海洋・漁業・漁業地域に対する人びとの環境認知とイメージの形成について、アンケート調査を実施し、地理学の立場から考察した。</p>
	研究の結果	<p>本研究課題を設定した背景として、近年、低迷基調にある漁業・漁業地域の振興に寄与することがある。多くの地方の漁業地域では、とる漁業からつくる漁業の転換や、海洋性レクリエーションを取り込んだ観光漁業の育成により、地域の活性化を図る動きが顕在化している。今回の研究では、後者の観光客を呼び込むために必要となる基礎的な海洋と漁業・漁業地域に対する認知度とイメージの形成状況について、東京大都市圏に居住する大学生を中心にアンケート調査を実施し考察した。その結果、いずれも学校教育にて取り扱う領海・EEZ等の基礎的な知識についての認知度は高いが、もう一步踏み込んだ具体的な事象の展開や地域になるとあまり高くないこと、またとくに海洋性レクリエーションについては性別差や種類による関心の高低差がみられるほか、津波災害の及ぼした負の影響が残ること等が判明した。</p>
	研究の考察・反省	<p>今回の研究では、時間や予算等の制約もあり、アンケート調査の対象者や地域も限られたものとなった。精度を増すため、より規模を拡大して継続的に調査する必要がある。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 なし	